

2021年8月6日

各位

会社名：株式会社ワールドホールディングス  
 代表者名：代表取締役会長兼社長 伊井田 栄吉  
 (コード番号：2429 東証第一部)  
 問合せ先：取締役経営管理本部長 中野 繁  
 (電話：092-474-0555)

### 2021年12月期第2四半期連結累計期間の 業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2021年2月8日に公表いたしました2021年12月期第2四半期連結累計期間(2021年1月1日～2021年6月30日)の業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2021年12月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異 (2021年1月1日～2021年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A) (2021年2月8日発表)	百万円 63,657	百万円 1,302	百万円 1,283	百万円 886	円 銭 50.81
今回実績値(B)	65,047	2,452	2,621	1,891	108.37
増減額(B-A)	1,390	1,149	1,338	1,004	
増減率(%)	2.2	88.2	104.3	113.3	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2020年12月期第2四半期)	70,844	2,773	2,872	2,497	145.25

#### 2. 差異の理由

新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の影響はあったものの、基幹ビジネスである人材・教育ビジネスが好調に推移し全体を牽引、特に利益面において大幅に当初予想を上回る形となりました。

中でもファクトリー事業において、5G関連需要や自動車関連の復調により、主力の半導体や半導体製造装置等の分野が総じて好調に推移いたしました。その他の人材分野においても、コロナショックからの回復基調にあったことに加え、PCR検査等のコロナ関連需要やオリンピック関連の特需的要素も取り込めた結果、当初予想を上回る結果となりました。

なお、通期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の再拡大懸念等を考慮し、2021年2月8日に公表いたしました予想を変更しておりません。今後の動向に応じて業績予想に変更が生じた場合は速やかに開示いたします。

以上